



♩ = ca. 52
mp

Soprano

1. ひらの混声合唱団だより
2. ひらの混声合唱団だより

Alto

mp

15周年記念 第2回 ひら混ジョイ・コーラス 2015



合同合唱 「あなたとわたしと花たちと」(混声合唱組曲「落葉松」より) 7月4日 コミュニティプラザ平野

『まずは及第点でしょうか!?!』

団長 大森 利治

いよいよ本格的な暑さがやってまいりました。皆様におかれましては水分補給を怠らず、暑さに備えてください。

さて、先日の第2回ジョイ・コーラス 皆さんの感想は如何でしたか。発表1か月前に先生のムチが入り、それからの仕上げで、専門家から見ればまだまだ伸ばす余地はあったでしょうが、お客さんはほぼ満足して下さったようですので、及第点を頂きましょう。しかし、反省すべきは反省して次に備えるべきですね。発表前まではどれぐらいのお客さんが来られるか心配でしたが、追加の椅子を出さねばならない程の満員盛況でした。お客様のアンケートの回収率は50%を超えました。その結果を見ますと、

演奏中は歳を忘れて楽しまれていることが分かります。そして、ひら混に期待されているところが大きいのも伝わってきます。私たちはもっともっと努力しなければならないと思いませんか。

入れ替わりの激しい進行も、柴田アナウンサーの名司会でスムーズに運びました。今回ファンを増やすのに色々工夫した点です。



今回の発表会はほとんど自前でやり遂げました。発表会へのノウハウが順次積み上げて参りました。後は、私達の心が一つなることです。



「サッカーによせて」「ロマンチストの豚」「真赤な太陽」「お祭りマンボ」「川の流れるように」



如月 「なにわの祭り」(おおさか風土記より)



カトレア 「夏の思い出」
「なごさ歩めば」(組曲「旅」より)
「スタンド・アローン」(ドラマ坂の上の雲より)



綿の花 「ふるさとは今もかわらず」「紀ノ川」

ジョイ・コーラスに寄せて

綿の花 保崎 爽子 先生

あじさいの花も満開を過ぎ、当日はお天気になってくれると期待していましたが、あいにく雨が降り出しました。お客さまの出足が鈍るのではと心配していましたが、1階席はほぼ満席になり、2階席も使われていることを知り、とてもうれしく思いました。

毎年12月のひら混の演奏会は聴かせていただいています。今回のジョイ・コーラスでは、新平野西小「カトレア」さん、加美南部小「如月」さん、平野南小「綿の花」の3校の生涯学習合唱団が、一緒に出演させていただくことになりました。団別の合唱以外に、合同合唱は初めての経験で、緊張や不安を感じながら出演致しました。

最初の合同練習で、藤田先生の平素のご指導が素晴らしいものであると感じました。歌詞の表現や呼吸方法等、例えの言葉に、団員さんが応えようと一生懸命歌っておられるのがよくわかりました。この練習を拝見して、私ははたして団員に理解してもらえる指導ができていたのだろうかと思案致しました。

今回体験した音楽活動のあり方や進め方は、私自身とても勉強になりました。「綿の花」のメンバーも、この演奏会に参加して、うれしく楽しかったと申しております。今回いろいろ経験したことを支えに、向上できるように頑張っていきたいと思います。

ひらの混声合唱団が今後もますますご活躍されますことを祈念致します。ありがとうございました。



男声合唱 「遠くへ行きたい」「昴」「鴉」(組曲「沙羅」より) 「大地讃頌」

みんなで歌おう(会場全員)「花」「青い山脈」



茶話会でのインタビュー



藤田先生

皆さんお疲れさまでございました。コンサート後に褒められたことを覚えておいて、その段階からレッスンを始められるように心がけましょう。男声合唱も本番は皆さんからおホメの言葉をいただきました。混声合唱の方もさらに上を目指して頑張っていきたいと思っています。

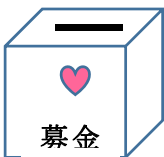
今回は各団のカラーが違って楽しかったです。平野っておもしろい町だと思います。平野区は大きいので地区の交わりがしにくいかもしれませんが、合唱というフィールドで一緒できたので、このご縁を機会にもっと他の合唱団にも広げていけたらいいなと感じています。今日は本当にありがとうございました。

澤田先生（如月）

よその団体さんと一緒にでき、勉強させて頂きました。またお誘いがあれば参加させて頂きたいと思っています。ご高齢の方も多いですが、歌を大きな声で歌うことが元気でいい人生につながる気がしています。お若い声でこれからもお元気で頑張りましょう。

薬谷先生（舞台監督）

皆さんの熱気に包まれて、ハラハラドキドキの進行



お客様と出演者からのジョイ・ジョイ募金が総額 163,774 円になりました。全額を今回のジョイ・コーラス経費に当てさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

でした。お怪我される方も舞台上で倒れる方もなく（笑）無事終わることができました。合唱を聴いてくださっているホールの中が温かい雰囲気本当に楽しいコンサートでした。

他合唱団の方々

♪とにかく楽しかった。いつもは出て終わりといった感じで、きょうは他の合唱団のも聴くことができ、茶話会まで出席できてうれしかったです。

♪こんなに椅子を準備して空席がたくさんできると思ったけど、すごい数のお客さんでしたね！こんな舞台上でよかったです

♪和気あいあいと出場できてとても良かったです。また誘ってください。



ひら混団員

♪昨日からの準備もあり疲れています。柴田アナの軽妙な司会で進行していただき良かったです。このようなコラボをまた企画していったら良いと思います。

柴田アナウンサー（ABC放送）

たまたまご縁があり司会をさせていただきました。平野の皆さんが歌を愛しておられることがよくわかりました。頑張っって大きな声で歌われているので、いつまでもお若くお美しいのだと（笑）私にとっても、とても楽しいステージでした。



大盛況でありましたコンサートにあたり（一財）大阪市コミュニティ協会平野区支部協議会鍋嶋様をはじめ皆様、旭区の山田様、団OBの方々、賛助出演いただきました皆様に感謝いたします。

「楽しんでます！」

平成26年1月から参加させていただいているテノールの宇野雅明です。きっかけは懇意のアルトの近藤様のお勧めですが、その時の募集広告に、夏の思い出、早春賦など好きな曲があったのにも心を動かされました。

もともと音楽好きで、短期間ですがピアノを習っていた中学の頃、将来音楽の先生になりたいと思ったこともあり、クラシック音楽を聴くことは永年にわたっての趣味になっています。しかし合唱の経験はといえば、遙か昔友人に誘われ労音のフロイデ合唱団に入り半年それだけです。

入会以来、今日まで実に楽しく、毎週水曜日の練習が待ち遠しいです。それとアフターコーラスも。厳しくて優しい先生方、楽しい先輩たち、これからもよろしくお願ひします。



岡本千賀子、近藤千代美、樽井由美子
野中栄子、古田淑恵、森田美雪、山本順子、
濱田薫、真淵洋子、福島博臣、坂野俊行
(敬称略)

今後の演奏会のお知らせ

◆ “イオン ミニコンサート”

日 時：2015年9月12日（土曜日）

場 所：イオン喜連瓜破駅前店

2ステージ 11:00、14:00

演奏曲目：「サッカーによせて」、「ロマンチストの豚」、
「川の流れのように」、「ハレルヤ」
男声合唱：「昂」、「大地讃頌」

◆ “大阪市コミュニティ合唱祭”

日 時：2015年9月27日（日曜日）

場 所：旭区民センター

演奏曲目：「サッカーによせて」、「ロマンチストの豚」、
「川の流れのように」

◆ “平野区クリスマスコンサート”

日 時：2015年12月16日（水曜日）

場 所：平野区民センター

(コミュニティプラザ平野)

演奏曲目：「天地創造」、「ハレルヤ」、
オペラ“椿姫”より「乾杯の歌」
第九「合唱」



～ 編集後記 ～

団だより作成にご協力いただいた皆様、
ありがとうございました。

今回のコンサートでは、前日の3日午後から多くの団員さんお手伝いに会場にかけつけてくれました。すべての意味で手作りコンサートになったと思います。合唱の輪が広がり、いつか平野区のコーラス団体で「第九」を歌えることができたらうれしいですね。

さて、いよいよ恒例のクリスマスコンサートの演奏曲目「天地創造」、「乾杯の歌」の練習が始まりました。皆さん、気合が入ってきたのではないのでしょうか。9月からは「第九」の練習も始まります。

15周年という節目の年であり、更なる練習を重ねコンサートの成功に向けガンバリましょう。(後藤・萩原)

コーヒーブレイク



久しぶりに紙面が空いたので、お邪魔します。
クリスマスコンサート演奏曲目の「乾杯の歌」が歌われるオペラ「椿姫」のあらすじを書いておきます。あらすじを知るとクリスマスで歌う曲として如何なものかとおっしゃる方がいるかも知れませんが「椿姫」はオペラの入門用としてはトップに挙げられる作品の一つであり「ああ、これ聴いたことがある」という方も多いと思います。

場面をちょっと頭の片隅に想像し歌ってください。

「椿姫」は、イタリアのオペラ作曲家ジュゼッペ・ヴェルディ (Giuseppe Verdi, 1813-1901) の代表作です。舞台は19世紀半ばのパリで、社交界の人気者である高級娼婦ヴィオレッタと、青年貴族アルフレードの純愛を描いています。二人は一度結ばれましたがアルフレードの父に反対されて別れ、最後に再会するもののヴィオレッタは結核で死ぬ、という悲恋物語なのです。第1幕のアリア「乾杯の歌」(Libiamo Ne' Lieti Calici) は、ヴィオレッタの屋敷でのパーティーでアルフレードとヴィオレッタが初めて出会う場面の歌です。歌を1曲歌うよう勧められたアルフレードはグラスを片手に情熱的に歌い、ヴィオレッタが加わってデュエットになり、さらに一同が加わって華やかに歌い上げます。